



信夫第二小学校 学校便り

きらら

〈教育目標〉

「めあてを持ち、やりぬく子ども」の育成

- よく考える子ども（学習：学力）
- 思いやりのある子ども（生活：人間力）
- 体をきたえる子ども（健康：体力）

No.4 令和3年5月28日(金)発行

◆「自分の命を自分で守る」その力を育てる◆

近頃、毎日のように登下校時の不審者情報が学校に届きます。学校では、朝の会や帰りの会で各学級ごとに、繰り返し、子どもたちの年齢に応じた指導をしています。また、お昼の放送では、全校一斉指導もしています。かけがえのない子どもの命を守るためです。ご家庭におかれましても、具体的なシチュエーションを想定しながら、お子さんとやりとりを行い、指導していただければと思います。学校で行っている指導内容につきまして、皆様にお知らせいたしますので、参考にしてください。

1. 標語「いかのおすし」

裏面に印刷いたしました。ご覧ください。

2. 不審者を見分ける

子どもを狙う不審者は、知り合いのふり、いい人のふり、困っているふりをして子どもの不安な気持ち、興味、親切心、欲求をあおります。「知らない人」には警戒するよう指導しました。併せて、自分の周囲1.5m（子どもが両手を広げたエリア）に、「知らない人」が入る状況はつくらないことを指導しました。



3. 逃げる勇気をもつ

体力的に弱い子どもが、体格の勝る者や凶器を持つ者に勝てる見込みはありません。子どもには「親切にしたい」という気持ちがあり、知らない人に声をかけられた際に、無視をしたり、「知りません」ということは失礼にあたると思う子もいます。自分の判断で「不審者の可能性あり！」と感じたら、命を守るための行動として、逃げるのが大事であると話しました。

「家に帰ってから」や「土日の生活」では・・・

まず、「危ない場所に行かない」。次に「一人で行動しない」。そして「一人で行動するときは、周囲を警戒する」。この3つが大事です。

さらに、次の4点を常に守らせてください。

- ① 出かけるときは行き先を伝える
- ② 帰宅時間の約束を守る
- ③ 目立つところに名前を書かない
- ④ あいさつをする



実は、最後の「あいさつ」が大事です。普段から近所の人とあいさつをし、顔見知りの関係を築くようにすることが、大切です。近所の人に親子であいさつし、知ってもらうことで、地域連携が図られ、万が一の際に助けていただきたり、情報をいただきたりするものです。



明日は親子奉仕作業です!!

実施の詳細については、すでにお知らせしているとおりで。マスク着用の場合は1m、未着用の場合は2m以上の十分な間隔を保つなど、コロナ対策をした上での実施となります。ご協力をよろしくお願いいたします。

天気予報によると、明日の午前中はどうか、除草作業や資源回収が行えるお天気のように。しかし、今後、変化することもあると思います。除草作業かガラス磨きか迷う場合には、両方できる準備をしていただければと思います。

なお、資源回収につきましては、雨天決行といたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。